



川口軌外《裸婦群像》1925年頃、当館蔵

Art at the Turn of the Eras : Before and After the Taisho

時代の転換と美術

「大正」とその前後

2019年9月18日(水) - 10月20日(日)

開館時間: 9時30分 - 17時(入場は16時30分まで) 休館日: 月曜日(ただし9月23日、10月14日は開館)、9月24日(火)、10月15日(火)

観覧料: 一般510(410)円、大学生300(250)円、10月1日より消費税率変更の場合: 一般520(410)円、大学生300(260)円 * ()内は20名以上の団体料金

* 高校生以下、65歳以上の方、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料 * 毎月第4土曜日(9月28日)は「紀陽文化財団の日」として大学生無料

The Museum of Modern Art, Wakayama 和歌山市吹上1-4-14

Tel.073-436-8690 Fax.073-436-1337 <http://www.momaw.jp/>

和歌山県立近代美術館 

当館では和歌山県ゆかりの人物を軸に、大正時代に活躍した作家やグループに関わる展覧会を継続して開催してきました。それらの展覧会を通して作品や資料の収集が進んだことにより、大正時代とその前後にわたる時期の充実したコレクションが形成されつつあります。この展覧会では、そのコレクションの中から洋画と版画を中心とした作品を、同時期の社会と人に関わるテーマを通して紹介いたします。

大正は、1912年7月から1926年12月までの14年あまり、大正天皇が在位していた期間の元号です。過去のある連続した時間のまとまりを、文明や社会、政治体制など、特定の観点によって区切ったものが時代ですが、一世一元の制が定着した近代以降の日本においては、元号がそのまま時代区分として機能してきました。

元号が改まったからといって、ある日を境に人や社会が激変する訳でないことは、私たちが身をもって体験したばかりです。しかし、大正時代を中心にその前後を見渡してみれば、大逆事件、第一次世界大戦、本格的な政党内閣の成立、関東大震災、普通選挙法と治安維持法の公布、満州事変など、国際的にも国内的にも、見方によっては時代の転換点と言えるような出来事が続きました。

美術作品が人間の作り出すものである以上、ある時に起こった大きな出来事や、社会的、文化的な流行などが、その表現やテーマに影響を与えることはしばしばあります。もちろん作品の特徴を時代と結びつけるのは一面的な見方ではありますが、作り手の意図する／しないに関わらず、作品からは当時の人や社会のあり方、またそれらが変化する様子を読み取ることもできるでしょう。

元号が改められた本年、美術作品を通しておよそ100年前を振り返ることで、近代から現代に至る時代のつながりと変化を、改めて見つめ直したいと思います。

【関連事業】

●フロアレクチャー(学芸員による展示解説)

9月22日(日)、10月6日(日) 14時から 展示室にて(要観覧券)

●子ども美術館部「かわるがわるかわるとわかる。」(小学生対象の作品鑑賞会)

10月5日(土) 11時から12時 展示室にて(小学生は無料、同伴される保護者は要観覧券)

*2日前までに電話(073-436-8690)かメール(bijutsukanbu@gmail.com)で要申込み。

●だれでも美術館部(みんなで話しをしながら作品を楽しむ鑑賞会)

10月5日(土) 14時から 展示室にて(要観覧券)

【同時期に開催の展覧会】

コレクション展2019-秋 特集:みやこの洗練

明治の京都画壇、特集:せんぱん 一前川千帆の版画—

9月10日(火)–10月20日(日)

【県立博物館(となり)の展覧会】

真景図—旅する画家が見た風景— 8月31日(土)–10月6日(日)



- ① 高村光太郎《佐藤春夫像》1914年、個人蔵
- ② 田中恭吉《バラの刺》1914年、当館蔵
- ③ 岸田劉生《黒き帽子の自画像》1914年、個人蔵
- ④ 萬鉄五郎《風景》1922年頃、個人蔵
- ⑤ 恩地孝四郎《大東京遠望》1929年、当館蔵
- ⑥ 古賀春江《海水浴》1922年、当館蔵
- ⑦ 佐伯祐三《自画像》1919年頃、当館蔵
- ⑧ 石井柏亭《東京十二景》「柳ばし」1910年、当館蔵



◎JR和歌山駅から:バス(2番のりば)で約10分、「県庁前」下車、徒歩2分
 ◎南海電鉄和歌山市駅から:徒歩15分/バス(9番のりば)で約10分、「県庁前」下車、徒歩2分 ◎南海電鉄なんば駅から和歌山市駅まで特急で約1時間 ◎JR新大阪駅からJR和歌山駅まで特急で約1時間 ◎駐車場:2時間まで無料、以後30分ごとに100円